

グローバルマネジメント セミナー

世界5大陸で企業役員を経験し、
外資系大手メーカーの日本法人現役役員を
務める講師による実践型ワークショップで
異文化マネジメントを学びます。

本セミナーでは、欧米と日本におけるビジネスコミュニケーションの具体例を紹介し、アメリカでキャリアを築いた講師自身の体験や文化の壁についてもディスカッションを通じて疑似体験できます。

講師は、日本文化と欧米文化の双方に精通しており、その視点から異文化間で陥りがちなビジネスコミュニケーションのパターンを分析。事例を通じてこれらのパターンを客観的に理解し、実際のビジネスシーンで冷静かつ適切に状況を判断し、意思決定できる準備を整えます。



Austin Auger 講師
(オースティン・オーガー)

◆セミナーの特徴

1 自分の行動を振り返る

- セルフアセスメント: 自分の行動や強み、改善点を事前に把握し、**マネジメントに対する自分の主観的な認識を深めます。**
- ワークショップ: 自身の特性と強みを実際に体感し、チームメンバーや講師からのフィードバックを通じて、**その場で客観的に自分を認識します。**
- 「自分の視点」と「他者の視点」両方の視点を取り入れ、自分自身とチームの強化ポイントを明確にし、中期の達成目標を具体的に設定し、その達成に向けて取り組みます。

2 アクションラーニング、ディスカッション中心

- 60~70%はワークショップ/ケーススタディーが中心。**
体感を通じて、重要ポイントを能動的に学び、脳と心に刻み込みます。
- 他者にマネジメントされる体験(ワークショップ)を通じて、適切なマネジメントの方法についてディスカッションし、理解を深めます。

3 ケーススタディ

- 企業、チームの目標について深く考え、ディスカッション: 講師の持つ豊富なケーススタディアクティビティの中から、最適な内容をセレクトします。
- 実践的ワークショップ: ミッションの理解、チームメンバーのエンパワーメント、意思決定、問題解決思考、パフォーマンスマネジメントなど、各ケースに対応します。
- 実体験×理論に基づくワーク内容: 講師の実体験を理論的に解説し、実践的なワークを通じてその知見を学びます。

◆プログラム例

- Think outside the box exercise (既成概念の枠の外に出て考える。オープンマインドで、Comfort zoneや常識の範囲を越えて考えてみる)
- セルフチェック「マネジメント」×「リーダーシップ」の両面から中核となる「在り方=To Be」
- ビジネス文化理解、マインドセット
- コミュニケーション(一方的なコミュニケーションと双方向的なコミュニケーション)
- マネジメント(マネージャーは開発されるべき存在。マネジメントスキルは習得できるもの)
- 意思決定プロセス
- 権限委譲
- 問題解決のステップとテクニック
- パフォーマンスマネジメント
- パラダイムチェンジと組織の変化
- チームビルディング

※ Auger講師は、欧米ビジネススクールの豊富なケーススタディから貴社に最適なものを選択し、実践的なビジネススキルを提供します。)

新卒、若手からミドル、赴任者まで幅広い層から高い支持！

受講者からの 高評価ポイント

- 海外で活躍するビジネスパーソンを身近に感じられる。
- 講師の立ち振る舞いと日本語での丁寧な解説が親しみやすい。

※ 価格は、受講者数が定員人数を超える場合や、実施場所、実施時間、カスタマイズされた研修内容により異なりますので、詳細についてはご相談ください。